
ダブリュード・閑話

マオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ダブリユード・閑話

【Nコード】

N6617F

【作者名】

マオ

【あらすじ】

ダブリユード続編へのつなぎの話です。短い後日談。相変わらず、オウマノリイリーが鬼畜で、サレイが不幸。

少女は、花開くように微笑み、小さく青年に話しかけた。

「おいトーヘンボク。ついてくるな」

鈴を鳴らすような声なのに、言葉尻は口の悪い男そのものだ。青年は即座に言い返す。

「……放っておけるか！ お前の毒牙にかかる男を減らすんだ俺はっ！」

「きゃあ怖い。すみません、この人がずっとつきまとっているんです、助けてください」

可憐な少女が口にした言葉に、青年は青ざめた。

「人聞きの悪いこというなよっ！？ っていうかなんでリイリーのままなんだっ！ 月のものは終わっただろ！ さっさとオウマになれよっ！？」

「やだこの人。人前で月のものの話するなんて、変態」

至極冷静に冷めた目で見られて、青年は更に青くなる。自分が口にした言葉がちよつと人前では言えないようなことだと気がついたようだ。

実際、周囲からちらほらと『なんだあいつ』『変態？ 強引なナンパか？』と言いたげな視線が感じられる。一緒にいる相手がこんでもない美少女なものだから、余計に。

真人間としては、あわてる状況である。

「ち、違う！ お前がさっさとオウマになればそれで済む話だろ！？」

「何のこといってるのか判らないわ。あなた頭大丈夫？」

「……」

とうとう青年は肩を落とした。泣き出しそうな声でつぶやく。

「……判った……昼飯おごるから……頼むから同行させてください
リイリーさん……」

「えー？ これから先の宿代とご飯代もつくなら考えてもいいけど。
あ、デザートも」

「鬼かお前はあつー！」

「いやーん、この人こわーい」

「……スミマセン、お願いですから同行サセテクダサイ……」

小さく舌を出してから叫ぼうとした彼女に、内心で涙しながら、
青年は謝り倒した。

少女はふん、と鼻を鳴らして、青年から視線を逸らした。小さく
囁くように宣言する。

「つきまといの変態と叫ばれたくなけりや、おとなしくオゴリ続け
る。てめえがついてくるせいで馬鹿な男にメシ奢ってもらえなくな
るんだからな」

「……うつうつ」

呻く青年に少女は背中を向けて歩き出した。おとなしくついてく
る気配を感じて、内心でため息をつく。気楽な一人旅に戻る日は
当分先になりそうだ。

犠牲者を減らすと言いながら、率先して自ら犠牲になっていると
青年が気付く日は来るのだろうか。

(後書き)

続編考え中です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6617f/>

ダブリュード・閑話

2010年10月15日18時22分発行